

宮城いきいき便り



息もぴったりに華麗なダンスを披露

「伝えよう 情熱！ 届けよう 笑顔!!」をテーマに、宮城いきいき学園登米・栗原校の第16回文化祭が10月13日、栗原市若柳総合文化センターで開かれた。開会式では学園生全員で「宮城いきいき学園の歌」を斉唱。県社会福祉協議会の佐藤光敏理事兼事務局長が「一層加速する少子高齢化と人口減少に向かう中にある、地方創生地域共生社会の実現のため、今後進められる地域づくりにそれぞれの立場で積極的に参画されることを期待申し

べた。展示スペースには学園生が日頃の学習活動

来場者は作品の出来栄に見入り、感嘆の声を上げていた。

マを掲げて文化祭が開



学園生の力作をじっくりと鑑賞する来場者

や趣味などで手掛けた写真、絵画、書道や手芸、工芸、陶芸の作品約170点が並んだ。来場者は作品の出来栄に見入り、感嘆の声を上げていた。ステージでは学園生代表2人による体験発表が行われた後、各クラブ活動紹介に続き1年生、2年生の合唱、太極拳クラブの発表があった。学園生による寸劇、ダンス、踊りのほか同窓生がコカリナ演奏、踊りを披露。会場は手拍子や拍手に包まれ盛り上がった。

感嘆の声と拍手 渦巻く

いきいき学園登米・栗原校文化祭



ディスコンを楽しむ参加者

宮城いきいき学園の卒業生が企画する「生きがい健康づくり地区大会」が先ごろ県内4校で開かれ、それぞれの地区住民が参加しスポーツを楽しんだ。石巻地区大会は東松島市民体育館でニュースポーツのペタンク、ディスコン、バツゴの実技体験や、同体育館から鷹来の森運動公園までのウォーキングを実施。学園の在校生と卒業生に加え、地区住民らが参加した。ニュースポーツでは参加者の好プレーのた

びに拍手や大歓声が沸き上がり、楽しみながら交流を深めた。ウォーキングでは心地よい汗をかきながら、参加者全員がゴールし日頃鍛えた健脚ぶりをお互いに褒め、たたえ合った。いきいき学園では卒業生全員を「生きがい健康づくり推進協力員」に委嘱。卒業後も2年間の学園生活で得た知識や経験を生かし、地域のシニアのリーダーとして継続的に活躍してもらっている。本大会はその活動の一つ。

大崎地区大会は昨年に行われた抽選会が行われ会場は盛り上がった。気仙沼・本吉地区と登米・栗原地区の各種スポーツ大会にもぎわった。

講演に続き、ニュースポーツの実技体験が行われ、参加者は楽しみながら交流を深めた。

拍手と大歓声沸き上がる

生きがい健康づくり石巻地区大会



ウォーキングで心地よい汗を流した